

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

高校1年生の秋に管理栄養士になろうと思ったときは、中学の時の塾の先生に同志社女子大学を勧められたため、決めました。当時のわたしの学力では届きそうになく、塾の先生にもきびしいと言われ負けが嫌いな性格のため色々と合格してやると思い頑張りました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

1学期は学校の行事や部活動がいそがしく、あまり受験生としての自覚がなかったため受験勉強という勉強はしていませんでした。塾の授業も音読を理由にして休んでばかりいました。

[夏休み]

自分が平均的に受験勉強を始めたのは8月からでした。苦手な化学を克服するために塾や学校でもらったプリントをひたすら解きました。

[2学期～入試直前] 夏休みが終わってから英語の勉強を始めました。テキストを何ヶ周もくり返しました。

公募推薦が終わってから、数ⅠAの勉強を始めました。これまで全くできていなかったのだからちゃんと見直し時間もなく、センター対策で問題集をこなしていき、同様の過去問も自分で解けるおこなうまでくり返しました。特に英語の過去問は何年分もこなし、とにかく過去問が完ぺきにこなすまでくり返しました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

正直、自分は勉強と学校生活の両立はできていませんでした。なので学校の行事や部活動が全部終わってから平均的な受験勉強を始めたので、すごくキリキリでした。単語だけでもっと早くから始めればよかったと思います。夏からは朝8:00から夜23:00まで塾に行き勉強して1日の家にいる時間が少なくてテレビも全然見れません。スマートフォンも塾にもっていくとどうなるかわからないので家においておきました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

とにかく1日でも早く勉強を始めてください。そして、目標を明確にし、それに向けて何をすべきか、というのを考えてそれに取り組むと、いい結果がでると思います。

一般入学試験  
食物栄養科学科管理栄養士専攻